

Zoom Up

人

長い距離を走るのはつらいけど、ゴールしたときの達成感がクロカンの面白さですね



佐々木 明香 さん

●ささき・あすか 松尾中3年生。女子スキー部主将、クラスでは書記を務める。今季は、県中学校スキー大会クロスカントリー女子リレー競技で松尾中を初優勝に導いたほか、個人でも入賞を果たす。松中スキー部の先輩を尊敬する。スキーのほかにマラソンが得意。趣味は音楽鑑賞で、将来は保育士になるのが夢。「明るい性格」と自己分析。血液型A型のおうし座。両親と祖父母、姉、兄の7人家族。松尾地区在住。



ゴ

ールの瞬間、自然に右手が上がりガッツポーズが出た。最後の直線では、コース脇を第一走者の畑智佳さん(1年)、第二走者の古川優里さん(3年)が声を掛けながら並んで走る。仲間の声援を背に受け、後続を振り切ってゴールラインを1位で通過。それが、県中学校スキー大会クロスカントリー女子リレー競技を松尾中が初めて制した瞬間だった。

トライバルの田

山中に勝ちたい」。その一心で夏場も厳しいトレイニングを重ねたという。焼走りへと続く長い坂道をローラースキーで上ったり、陸上部と一緒に走りこむなどの練習を通じて、足腰を強化するとともにコースの状況に合わせて滑るための技術を養った。

3年生として迎える最後の県大会本番の前に、明香さんはこれまでにない勝利の予感がしたという。第一走者の智佳さんは、明香さんが1年生だった当時よりも早いタイムを出すほどの成長株で心強いことに加え、チームとしての調子も上がっている。「今日は勝てる」。そう確信してレースに臨んだ。第二走者の優里さんから、トップと56秒差の3位でタツチを受けた明香さん。レース序盤で2校をかわしてトップに立つことはできたが、後方からは県大会個人種目で二冠に輝いたライバル田山中のエース、斉藤由美佳さんが追いついて間近に迫っていた。「勝ちたい」。その思いでひたすら前に行く。今まで練習してきたことを思い出し、自分の力を出し切ろうと集中を高める。最後はチームメイトたちの声援の力も借り、見事に初優勝を決めた。

競技をするうえで「人に負ける前に、自分に負けないこと」を心がける明香さん。順位もさることながら、練習で培った力を出し切ることに主眼を置くという。いつも全力でコースを駆ける明香さんたちの笑顔は晴れやかだ。

戦いを終えた明香さんたちの笑顔は、これからも輝き続けるに違いない。